

平成22年度 土砂災害防止月間ポスター

平成21年度 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文
【絵画】中学生の部 展示秀賞

「破壊」

福島県福島市立福島第一中学校二年 森谷祐子



みんなで防ごう土砂災害

「生きていることに感謝」

鹿児島県出水市立光明ノ津中学校一年 山崎聖南

山崎聖南

一九九六年十一月十五日。身長、五〇センチ。

体重、二八〇〇グラムの元小さな子が産まれました。その子の名前は山崎聖南。私が産まれた約半年がたった夏、七月十日に、私たちが住んでいる出水市針原で、土石流災害が起きました。夜中に起こった災害だったため、私たち家族を含め、みんなの頃寝ていました。

その土石流で流れ込んだ方々には、自分の命を守るために、近くに浮いていたベットや、たたみなどにつかまつて、水の中からはい上がって助かった方もいます。そして、同じ家の中に寝ていても、寝わらしの場所を離すように、助かった方、助かなかつた方がいたのです。

自分のとなりで何んが寝ていて自分は助かつたが、その子は助からなかつたということがありました。このことを父、母に聞いたとき、自分の供は亡くしてしまった方、家族の方を亡くしてしまった方がかいそうでまたありませんでした。

その土石流災害のことは、新聞の記事にものまであったのです。そのことを父、母に聞いたとき、自分の供は亡くしてしまった方、家族の方を亡くしてしまった方とのことで、父が泣きながら、亡くなれた方や被害をうなづいていました。この土石流災害での死者は二十一名と聞き、なんてたくさんの方が亡くなつたのだと思いました。

その土石流災害のことは、新聞の記事にものまでありました。この土石流災害で落ちてた石の大きさは私の家の大きさなどのものであったと教わりました。この土石流災害での死者は二十一名と聞き、なんてたくさんの方が亡くなつたのだと思いました。

この土石流災害が起つたとき、出水市針原にありました。この災害で亡くなった方のための慰霊碑公園があります。そこには、石碑があり、私の父が書いた短歌はつてあります。

「針原の みかんの里に みを咲かすと みな雪にけり。」

とう歌です。十三年たった今、針原には本当にみかんの花がきれい咲いています。この歌を書いた父やみんなの願いがしっかりと神様に届いたのだろうと思いつ。

私はこの前、祖父と一緒に、慰霊碑公園に行つてみたとき、石碑に刻まれている亡くなつた方の名前を見ていました。すると、一人の男の子の名前がありました。そして、その子の年齢は〇才。私が〇才のときにも起つた災害なので、もし、その子が今生きていたら私と同じ年の中学生になつたのだと思います。

私は、望雲碑公園に、おおりに行つたことが何度もあります。その時、私がいつも思うことは、もし、土石流災害が多くて、この方々が今は生きています。

私は、望雲碑公園に、おおりに行つたことが何回生だと思いました。

何度もあります。その時、私がいつも思うことは、もし、土石流災害が多くて、この方々が今は生きています。

私は、望雲碑公園に、おおりに行つたことが何回生だと思いました。

何度もあります。その時、私がいつも思うことは、もし、土石流災害が多くて、この方々が今は生きています。

私は、望雲碑公園に、おおりに行つたことが何回生だと思いました。

何度もあります。その時、私がいつも思うことは、もし、土石流災害が多くて、この方々が今は生きています。

土砂災害防止月間
6/1→30
かけ崩れ防災週間 6/1→7

主催 国土交通省・都道府県

後援 内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟、(社)全国放送防災会、(財)砂防・地すべり技術センター、(財)砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)砂防広報センター、全国地すべり対策協議会、(社)斜面災害対策技術協会、(社)建設技術研究所、(社)建設広報協議会、砂防ボランティア全国連絡協議会

土砂災害に関する情報はこちらから

国土交通省砂防部のホームページ
PCサイト <http://www.mlit.go.jp/river/sabo/> 検索